



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社いい生活 上場取引所 東
コード番号 3796 URL <https://www.e-seikatsu.info/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 CEO （氏名）前野 善一
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役副社長 CFO （氏名）塩川 拓行 TEL 03-5423-7820
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA（※）		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	767	2.3	145	16.2	3	—	10	—	4	—
2026年3月期第1四半期	749	5.3	125	35.7	△13	—	△17	—	△13	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 4百万円（—％） 2026年3月期第1四半期 △13百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	0.31	—
2026年3月期第1四半期	△1.01	—

（注）1. 当社グループの業績に係る有用な比較指標として、EBITDA（営業利益+減価償却費）を開示しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	2,496	1,952	78.2	141.43
2026年3月期	2,669	1,989	74.5	144.13

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 1,952百万円 2026年3月期 1,989百万円

（注）当社は、2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	3.00	3.00

（注）1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
3. 2027年3月期（予想）については当該株式分割後の配当金の額を記載しております。なお、株式分割前基準に換算しますと1株あたり6円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,415	5.7	319	39.3	317	34.1	195	29.6	14.19

参考）EBITDA 2027年3月期通期 業績予想 909百万円（前年同期比 15.8％）

（注）当社グループの業績に係る有用な比較指標として、EBITDA（営業利益+減価償却費）を開示しております。

（注）当社は、2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2027年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	14,561,400株	2026年3月期	14,561,400株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	758,646株	2026年3月期	758,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	13,802,754株	2026年3月期1Q	13,802,754株

（注）当社は、2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・決算補足説明資料はTDnetで2026年8月6日（木）に開示し、同日、当社ホームページに掲載する予定であります。

〈機関投資家・アナリスト向け決算説明会〉

日時：2026年8月6日（木）16:00開始（説明：40分、質疑応答：20分程度を予定）

開催方法：オンライン説明会（Zoomウェビナー）

出席者：代表取締役副社長CFO 塩川 拓行

〈ご参加方法〉

ご参加にあたっては、下記URLより事前のご登録をお願いいたします。ご登録完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に視聴用のURLをお送りいたします。

事前登録：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_hXJ-po6SR8GdwjQRXqbA0w

〈個人投資家向けIR説明会〉

日時：2026年8月20日（木）18:30開始（説明：40分、質疑応答：20分程度を予定）

開催方法：オンライン説明会（Zoomウェビナー）

出席者：代表取締役副社長CFO 塩川 拓行

〈ご参加方法〉

ご参加にあたっては、2026年8月19日（水）までの事前のご登録が必要となります。下記URLより事前登録ページにお進み頂き、必要事項をご記入ください。開催日前日までに、ご登録いただいたメールアドレス宛に視聴用のURLをお送りいたします。

事前登録：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_cIcxgxEiSnXMU29YG8KCQ

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	3
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(セグメント情報等の注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

サブスクリプションが堅調に推移し売上高は前年同期比2.3%成長 費用構造の適正化により前期から黒字転換

＜2027年3月期第1四半期業績ハイライト及び直近のトピックス＞

- 売上高は前年同期比2.3%増の767百万円となりました。サブスクリプション売上のアップセル/クロスセルが堅調で、解約率も引き続き低水準で推移しており、当四半期の業績は予想に対し順調に推移しています。
- 前期から引き続きAIコーディングの導入やAIを活用した業務の刷新を進め、費用構造の最適化と生産性の向上を進めつつも、「いい生活Square」のトランザクション課金増加に伴う支払手数料が増加したことや、前期のプロダクト投資に伴う減価償却費が増加した結果、売上原価は349百万円（前年同期比5.7%増加）となりました。マーケティング・セールス系についても、AI活用による業務効率化と人員構成の最適化が進み、販売費及び一般管理費は414百万円（前年同期比4.2%減少）となりました。
- 以上の結果、当四半期における営業利益は3百万円（前年同期比16百万円の増益）となり、総費用を抑制しながら増収を増益に結びつけました。業績予想対比でも順調に推移しています。

＜IR情報（決算説明資料等）について＞

2027年3月期第1四半期の決算説明資料及び直近の業績（月次の売上推移）については当社 IR 情報サイトよりご覧ください。

IR情報サイト：<https://www.e-seikatsu.info/IR/>

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における業績につきましては、売上高は767,080千円(前年同期比2.3%増)、EBITDAは145,551千円(前年同期比16.2%増)、営業利益は3,158千円(前年同期営業損失13,815千円)、経常利益は10,282千円(前年同期経常損失17,585千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,256千円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失13,967千円)となりました。

連結業績概要	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同期	
	(千円)	(千円)	差額 (千円)	増減率 (%)
売上高	749,475	767,080	17,605	2.3
EBITDA(営業利益+減価償却費)	125,279	145,551	20,272	16.2
営業利益又は営業損失(△)	△13,815	3,158	16,974	—
経常利益又は経常損失(△)	△17,585	10,282	27,867	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,967	4,256	18,224	—

当社グループは、「テクノロジーと心で、たくさんのいい生活を」というミッションの実現に向け、「心地いいくらしが循環する、社会のしくみをつくる」というビジョンを掲げております。

不動産市場における様々な課題を解決するSaaS(継続課金モデルのクラウドサービス)を核とし、最新のAI技術やデジタル活用を通じた業務プロセスの変革により、不動産市場のデジタルトランスフォーメーション(DX)を強力に支援する事業を展開しております。

不動産業界においては、深刻化する人手不足や相次ぐ法改正への対応に加え、サイバー攻撃への備えが喫緊の課題となっています。こうした背景から、AIエージェントによる省力化や、柔軟な課題解決を可能とするSaaS導入への関心は極めて高く、基幹業務システムの刷新に向けたIT投資は引き続き活発に推移しております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は767,080千円(前年同期比2.3%増)と、前年同期より17,605千円の増収となりました。サブスクリプション売上は713,477千円(前年同期比9.4%増)と、新規顧客の獲得や既存顧客へのアップセル/クロスセル等が堅調に推移いたしました。サブスクリプションの顧客数は6月末時点で1,584法人(前年同月1,566法人)となり、平均月額単価(※1)は6月実績約150,300円/法人(前年同月比6.5%増)となりました。

ソリューション売上は前年同期に特定顧客向けの当社SaaSの大型導入支援プロジェクトの完了があったため53,603千円(前年同期比44.8%減)となりました。

(※1)「当月のサブスクリプション売上高」を「当月のサブスクリプション顧客数」で除した数値で、100円未満を切り捨てております。

なお、売上高の内訳については下記のとおりであります。

品目詳細	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		対前年同期	
	売上高(千円)	構成割合(%)	売上高(千円)	構成割合(%)	差額(千円)	増減率(%)
サブスクリプション(注)1	652,392	87.0	713,477	93.0	61,085	9.4
ソリューション(注)2	97,082	13.0	53,603	7.0	△43,479	△44.8
合計	749,475	100.0	767,080	100.0	17,605	2.3

(注)1. サブスクリプション: SaaSの月額利用料収入やSaaS導入後の運用支援契約に基づく経常的な収入など、解約の申し出がない限り毎月継続的に発生する収益であり、当社のMRR(Monthly Recurring Revenue、月間経常収益)であります。

2. ソリューション: SaaSの初期設定、スポットのシステム導入・運用支援、システムの受託開発、他社サービスの代理店販売・紹介料など、その他のサービスに係る収益であります。

売上原価につきましては、「いい生活Square」のトランザクション課金増加に伴う支払手数料が増加したことや、前期のプロダクト投資に伴う減価償却費が増加しました。一方、前期より開発体制の内製化推進や外部委託の見直しで外注費が減少したほか、引き続き開発プロセスの体制強化やデータモダライゼーション業務の標準化を進めており、人員構成の最適化で人件費および求人関連費が低減いたしました。以上の結果、売上原価は349,907千円（前年同期比5.7%増）となりました。

マーケティング・セールス系についても、AI活用による業務効率化と人員構成の最適化が進み、販売費及び一般管理費は414,014千円（前年同期比4.2%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるEBITDAは145,551千円（前年同期比16.2%増）と前年同期より20,272千円の増益、営業利益は3,158千円（前年同期営業損失13,815千円）と前年同期より16,974千円の増益となり、黒字転換いたしました。

また、米ドル建てでの取引に係る為替リスクの低減手段として為替予約を行っており、当第1四半期連結累計期間における円安の影響で当該為替予約に係る為替差益が営業外収益として発生いたしました。以上の結果、経常利益は10,282千円（前年同期経常損失17,585千円）となりました。

なお、当社グループの開示上の報告セグメントは「クラウドソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメントの業績については記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、2,496,054千円となり、前連結会計年度末から173,620千円の減少となりました。

流動資産の残高は699,501千円となり、前連結会計年度末から160,629千円の減少となりました。これは、現金及び預金の減少112,572千円等によるものであります。

また、固定資産の残高は1,796,553千円となり、前連結会計年度末から12,990千円の減少となりました。主な増加要因は、自社開発クラウドサービスに関する機能強化等の追加投資に伴うソフトウェアの増加45,988千円等であり、主な減少要因は、ソフトウェア仮勘定の減少48,768千円、繰延税金資産の減少4,499千円等であります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は543,868千円となり、前連結会計年度末から136,468千円の減少となりました。

流動負債の残高は472,741千円となり、前連結会計年度末から119,308千円の減少となりました。主な減少要因は、未払法人税等の減少90,742千円等であります。また、固定負債の残高は71,126千円となり、前連結会計年度末から17,160千円の減少となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済に伴う減少17,160千円であります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,952,186千円となり、前連結会計年度末から37,151千円の減少となりました。これは、配当金に伴う利益剰余金の減少41,408千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加4,256千円等であります。

④キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べて112,572千円減少し、496,030千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(i) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、78,637千円の増加（前年同期142,577千円の増加）となりました。主な収入の要因は減価償却費142,393千円、売上債権の減少額73,398千円等であります。主な支出の要因は、賞与引当金の減少額48,945千円、未払消費税等の減少額20,124千円等であります。

(ii) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、134,722千円の減少（前年同期158,639千円の減少）となりました。主な支出の要因は、SaaSの新規開発・機能拡充等に係る無形固定資産の取得による支出134,722千円であります。

(iii) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、56,811千円の減少（前年同期32,948千円の減少）となりました。主な支出の要因は、配当金の支払額39,651千円、長期借入金の返済による支出17,160千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね想定どおり推移しているため、2026年5月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

当社グループの2027年3月期の連結業績見通しは、以下のとおりであります。

売上高	3,415百万円（前年同期比 5.7%増）
営業利益	319百万円（前年同期比 39.3%増）
経常利益	317百万円（前年同期比 34.1%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	195百万円（前年同期比 29.6%増）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	608,602	496,030
売掛金	145,061	98,659
契約資産	26,996	-
仕掛品	2,519	10,476
前払費用	88,197	100,850
為替予約	1,925	7,367
その他	8,720	5,403
貸倒引当金	△21,892	△19,286
流動資産合計	860,130	699,501
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	67,029	67,029
減価償却累計額	△47,981	△48,822
建物附属設備（純額）	19,047	18,207
工具、器具及び備品	164,364	164,482
減価償却累計額	△136,031	△139,316
工具、器具及び備品（純額）	28,333	25,166
有形固定資産合計	47,381	43,373
無形固定資産		
商標権	818	789
ソフトウェア	1,401,988	1,447,977
ソフトウェア仮勘定	181,931	133,162
無形固定資産合計	1,584,738	1,581,929
投資その他の資産		
ゴルフ会員権	42,000	42,000
敷金及び保証金	73,603	73,089
長期前払費用	20,695	19,533
繰延税金資産	41,126	36,626
投資その他の資産合計	177,425	171,250
固定資産合計	1,809,544	1,796,553
資産合計	2,669,675	2,496,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	68,640	68,640
未払金	108,031	124,087
未払法人税等	97,299	6,557
前受金	169,675	161,415
預り金	13,981	46,670
賞与引当金	66,046	17,101
その他	68,375	48,270
流動負債合計	592,050	472,741
固定負債		
長期借入金	85,600	68,440
預り保証金	2,686	2,686
固定負債合計	88,286	71,126
負債合計	680,336	543,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,411	628,411
資本剰余金	718,179	718,179
利益剰余金	781,362	744,210
自己株式	△138,614	△138,614
株主資本合計	1,989,338	1,952,186
純資産合計	1,989,338	1,952,186
負債純資産合計	2,669,675	2,496,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	749,475	767,080
売上原価	331,133	349,907
売上総利益	418,341	417,173
販売費及び一般管理費	432,157	414,014
営業利益又は営業損失(△)	△13,815	3,158
営業外収益		
受取利息	6	9
為替差益	-	8,509
受取手数料	81	97
未払配当金除斥益	335	272
営業外収益合計	423	8,888
営業外費用		
支払利息	-	520
支払手数料	149	149
雑損失	155	1,094
為替差損	3,887	-
営業外費用合計	4,192	1,764
経常利益又は経常損失(△)	△17,585	10,282
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,585	10,282
法人税、住民税及び事業税	7,753	1,525
法人税等調整額	△11,370	4,499
法人税等合計	△3,617	6,025
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,967	4,256
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,967	4,256

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,967	4,256
四半期包括利益	△13,967	4,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,967	4,256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,585	10,282
減価償却費	139,095	142,393
為替差損益(△は益)	2,718	△5,766
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,232	△2,606
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,360	△48,945
受取利息及び受取配当金	△6	△9
支払利息	—	520
売上債権の増減額(△は増加)	54,420	73,398
棚卸資産の増減額(△は増加)	379	△7,956
未払金の増減額(△は減少)	19,804	14,180
前受金の増減額(△は減少)	△26,972	△8,260
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,151	△20,124
預り保証金の増減額(△は減少)	△78	—
その他	17,209	16,470
小計	144,544	163,576
利息及び配当金の受取額	6	9
利息の支払額	—	△520
法人税等の支払額	△1,973	△84,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,577	78,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,987	—
無形固定資産の取得による支出	△152,472	△134,722
敷金及び保証金の差入による支出	△180	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,639	△134,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△17,160
配当金の支払額	△32,948	△39,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,948	△56,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	△571	323
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49,581	△112,572
現金及び現金同等物の期首残高	345,549	608,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	295,967	496,030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。